

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

An impress Group Company

各 位

2026 年 10 月 15 日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

クマ問題は動物学では解決しない!?
狩猟文化を知り尽くした民俗学者が社会学の視点で問題を紐解く
『ヤマケイ新書 増補改訂版 クマ問題を考える』を刊行!

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2026 年 10 月 15 日に東北芸術工科大学名誉教授でマタギの研究で知られる民俗学者・田口洋美氏による『ヤマケイ新書 増補改訂版 クマ問題を考える』を刊行しました。



【内容】

日本列島を恐怖の渦に巻き込んだ令和のクマ騒動。北海道のヒグマ、本州のツキノワグマともに、問題は山里から都市まで広がり、人々の日々の生活や農林業、観光業などに大きな影響を与えています。

著者はマタギの研究で知られる民俗学者の田口洋美氏。狩猟文化や山村の暮らしに精通し、動物学・生態学ではないアプローチで野生動物問題を研究しています。そんな田口氏が秋田県を中心に起こった「平成のクマ騒動」を機にまとめたのが『ヤマケイ新書 クマ問題を考える』(2017 年刊行)で、今回、それを元に令和クマ騒動を大幅に増補し、改訂した 1 冊となります。

本書では、クマ問題は、人間社会の構造的・政策的な変化に呼応して、クマたちが生息地や行動を変容させた結果と整理し、その対策について考えます。クマの生態からの対策ではなく、あくまでも社会の問題として、人間側の暮らし側から問題を見つめ直すことで、今後の対策の糸口を探ります。

【目次】

- 第1章 クマ問題さらなる次元
- 第2章 平成のシシ荒れ
- 第3章 生息域拡大期の現実
- 第4章 近世の相克「シシ荒れ」森の消長と野生動物
- 第5章 狩猟の公共性
- 第6章 クマと向き合う

【仕様】

新書版／オール1色 288 ページ

定価 1430 円 (本体 1300 円＋税 10%)

詳細 <https://www.yamakei.co.jp/products/2826510990.html>

【著者】

田口洋美(たぐち・ひろみ)

1957 年、茨城県生まれ。民族文化映像研究所、日本観光文化研究所主任研究員を経て、1990 年に「マタギサミット」を主宰。1996 年に狩猟文化研究所を設立。2005 年、東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士(環境学)。同年より東北芸術工科大学教授。現在は東北芸術工科大学名誉教授、北海道大学アイヌ先住民研究センター客員研究員、富山大学教育実践総合センター研究協力員など。自然と人間の関わりを歴史社会的視点から捉えた狩猟文化研究で実績をあげる。現在は極東ロシアや東アフリカ地域へも研究範囲を広げつつ、狩猟を視点とした野生動物の保護管理問題にも取り組んでいる。主な著書に『越後三面山人記 マタギの自然観に習う』(農山漁村文化協会、ヤマケイ文庫)『マタギ 森と狩人の記録』『マタギを追う旅 ブナ林の狩りと生活』(慶友社)『クマ問題を考える 野生動物生息域拡大期のリテラシー』(山と溪谷社、ヤマケイ新書)などがある。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀)を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：神谷有二

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>